

協育サポーターとしての意見

(協育学習部会拡大事務局会議『協育サポーター作戦会議』まとめ)

今年度の事業評価等と次年度の活動推進に向けて

1. 協育学習部会拡大事務局会議『協育サポーター作戦会議』について

(1) 事務局体制

- 学校との連絡調整・協議、日常の協育学習部会活動推進のための協育サポーター間の連絡調整・意見交換(「おしゃべりひろば」や「水やりミーティング」の運営を含む)、PT部会とのコラボ等、協育学習部会の円滑な活動のための連絡調整・企画調整等の役割を果たす組織として有効であった。
- 次年度以降もこのような運営体制の継続が望ましいが、できるだけメンバーの負担が大きくなるように工夫していくことが求められる。
- 今年度は、この作戦会議の立ち上げにあたり、PT部会とのコラボ企画等を視野に入れて、PT部長にメンバーとして参画していただいた。次年度以降もこのようなPT部会との連絡調整の機能を継続していきたいが、固定したメンバーとはせず、必要な時に都合の付くPT部会の運営スタッフに出席・協力していただけるような体制とするなど、柔軟な対応をしていきたい。

(2) 『協育サポーター作戦会議』の業務推進

- 水やりメールによる協育サポーターへの連絡体制をより一層整備した。次年度以降もこの連絡体制を継続して活用していくこととしたい。
※卒業生サポーターについては、学校が学校ホームページとjin-jinメールの活用による連絡体制をスタートすることを確認している。
- 今年度初めて、『協育サポーター作戦会議』として、みなみの杜応援団『協育学習部会』ガイドブックを作成した。協育サポーター間で部会の目的や具体的な活動等について共有することができる資料として作成した。次年度以降も内容を精査しつつ、作成にかかる負担軽減を図りながら継続していくこととしたい。
- 今年度初めて、『協育サポーター作戦会議』として、みなみの杜応援団『協育学習部会』協育サポーターリストを作成した。協育サポーター間ではもとより、生徒や教職員、保護者等と顔の見える関係づくりを目指して作成した。次年度以降もサポーターの構成(分類)等について検討したうえで、作成にかかる負担軽減を図りながら継続していくこととしたい。なお、写真の掲載などについて各協育サポーターに個別の確認をていねいに行うことによって、個人情報の取り扱いをより一層徹底したい。
- 作戦会議は、基本的には「おしゃべりひろば」に合わせて、その開催前に(2か月に1回の割合で)開いてきた。部会活動の推進状況を確認しながら、「おしゃべりひろば」、「水やりミーティング」での連絡・意見交換等についての調整を行ってきた。
- また、みな杜祭等の企画や準備等を必要とする活動の企画調整も行ってきた。次年度以降、サタデースクールの取組を正式に部会としての活動に位置付けることになれば、そのための連絡調整・企画調整等の業務も担当することになることが想定される。その業務が大きな負担とならないよう工夫することが大きな課題となりそうだ。

2. ミーティング

(1) 正式な機関会議

- 「協育学習部会全体会(2月全体会、4月全体会)」
- 学校主催の会議として開催していくことを学校と確認した。
→4月全体会の開催時期(開催月)については、学校の新年度体制等準備の関係で5月開催も含めて、学校として調整すると聞いている。

(2) 協育サポーターのコミュニケーションの場

〈協育サポーター全体対象〉

- ・協育サポーターコミュニケーションひろば「おしゃべりひろば」
- その設置目的に沿った活動ができていた。
- 次年度以降は、開催方法・内容・回数等に必要な見直しを図りつつ継続していくこととしたい。

〈地域サポーターグループ対象〉

- ・地域サポーターグループミーティング「水やりミーティング」
- その設置目的に沿った活動ができていた。同好会活動である「サポーターズ農園」の活動もミーティングと並行して行ってきた。
- 次年度以降は、「おしゃべりひろば」との関係を整理するなどしたうえで継続していくこととしたい。
- 「サポーターズ農園」については、希望者による受益者負担(会費制)の同好会活動として行っていくこととした。(地域サポーター全員参加とはしない。)なお、活動はこれまでどおり、「水やりミーティング」と並行して行っていきたい。

3. サポーター活動

(1) 学習サポート *生徒とかかわる活動

- 例年通り、家庭科、情報、コース実習の補助(杜cafeモニター等)を中心に学校からリクエストのあったサポーター活動に取り組んだ。
- コロナ禍にあった今年度は、学校からのリクエストに応じて、生徒の皆さんに少しでも楽しんでもらいたという願いを込めて、みな杜祭において5つのサポーターブースを出店した。
- 次年度も学校からのリクエストに応じて継続して取り組んでいきたい。
- 次年度以降、サタデースクールの取り組みについて学校からリクエストがあれば協力していきたい。その際、杜cafeや地域連携室(1階)を活用したサポーター活動の可能性について、学校と引き続き協議していきたい。

(2) 課外活動サポート *生徒とかかわる活動

- 主にご近所サポーターの活動として、登下校の見回り活動に取り組んだ。
- 部活動(バドミントン部)専門の協育サポーターとしての活動あり。
- 次年度も学校からのリクエストに応じて継続して取り組んでいきたい。

(3) 教員業務サポート&環境整備サポート

- 主にご近所サポーターの活動として、ファームの水やりに取り組んだ。
- 今年度新たに、学校図書館の司書業務補助のリクエストがあるなど、活動の幅が広がりつつある。
- サポートタイムの活動として、グラウンドの草取り(ランニングコースの整備)、植栽の整備、夢ハンカチのミシンかけに取り組んだ。(のべ4回)

- 次年度も学校からのリクエストに応じて継続して取り組んでいきたい。
（サポートタイムの活動も継続して取り組んでいきたい。）
- (4) 地域（住民）とのコーディネート&地域サポーターの新規登録啓発
 - 地域実習先開拓のサポーター活動に取り組んだ。（依頼があった）
 - 地域サポーターの新規登録啓発に取り組んだ。
 - 次年度も学校からのリクエストや自発的な活動として継続して取り組んでいきたい。